

令和3年度60回記念福島県芸術祭主催行事
公益財団法人福島県文化振興財団助成事業

記念式典

12月5日(日)

10時～10時30分
大ホール

文学

展示行事

12月1日(水)～
12月5日(日)

9時～17時
3階展示室

美術

音楽

舞台行事

12月5日(日)

10時30分～15時30分
大ホール

舞踊

福島県芸術文化団体連合会

創設50周年記念事業

ふくしまの芸術文化

令和3年
12/1(水)～5(日)

とうほう・みんなの文化センター

入場料 1,000円

プレイガイド とうほう・みんなの文化センター

主催 福島県芸術文化団体連合会 福島県 福島県教育委員会

共催 公益財団法人福島県文化振興財団

後援 福島市 福島市教育委員会 福島市文化団体連絡協議会 福島民報社 福島民友新聞社 NHK福島放送局
ラジオ福島 エフエム福島 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送 テレビユー福島

福島県芸術文化団体連合会事務局

お問合せ

福島市春日町5-54(とうほう・みんなの文化センター内)
TEL024-535-3350 E-mail f-geibun@sage.ocn.ne.jp

- 入場券について……入場料金は1,000円です。大人・子どもの区別はありません。1枚の入場券で展示行事および舞台行事に、期間中何度でも入場できます。受付で入場券をご提示ください。
- 賛助会員証の取り扱いについて……福島県芸術文化団体連合会の賛助会員には賛助会員証を発行しております。賛助会員は賛助会員証を受付にご提示していただければ無料で入場できます。

新型コロナウイルス感染予防のため、マスク着用、手指の消毒、人と人の距離の確保などご協力お願いいたします。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況により展示行事・舞台行事で出品出演を取り止める団体がある場合があります。

福島県芸術文化団体連合会

創設50周年記念事業

ふくしまの芸術文化

展示行事出品団体

福島県美術協会…昭和5年創立、福島県全域に会員を擁する県内最大の洋画団体。毎年秋に公募展の福島県美術協会展(県美協展)を開催し、今年で第88回展を迎えた。

福島県彫刻会…昭和29年、県内の彫刻愛好者が集まり発足、中央からの講師を迎えて実技講習会を催し、日展や日彫展などへ出品する会員も多い。県内各地域に会員多数が在籍している。

福島県写真連盟…昭和46年発足。県内全域に会員を擁し毎年福島県写真展を開催し、今年は第49回展を開催。また、県内の写真クラブが会するクラブ合同例会や会員同士の展示会等活発な活動を行っている。

福島県俳句連盟…昭和49年県内の俳句関係者が流派・結社を問わない交流を図るため設立された。福島県俳句祭の開催や俳句賞、句集の発行などの活動を行っている。今年は新型コロナにより紙上開催となった。

福島県歌人会…短歌文学の振興と歌人相互の親睦を目的に昭和27年設立。福島県短歌祭を毎年開催、県短歌選集、会報を定期的に発行し、短歌賞・歌集賞を授与し、全国レベルの受賞者も多い。

福島県現代詩人会…昭和53年県内の現代詩創作関係者や愛好家が参集し、県全体の詩作に関係する人々の連帯組織として設立。会報、年刊詩集の発行。「詩祭講演と朗読のつどい」を毎年開催している。

福島県川柳連盟…昭和37年県内各地で活動していた川柳を愛好する会が団結して設立。文学としての川柳の向上・普及を図るため毎年川柳大会を開いている。また、川柳賞の授与や出版も行っている。

福島県書作家連盟…昭和37年第16回福島県美術展に書の部が新設されたことを機会に翌38年結成された。書の伝統ある古典の造形美を求める目的を持って「福島県書作家連盟展」を毎年開催している。

福島県書道協会…戦後、情操・道徳教育の一環として書道教育の必要性が認識され昭和24年設立された。福島県書道協会展を毎年開催し、漢字、かな、近代詩文、小字などの多彩な書を展示している。

福島県日本画協会…県内の日本画愛好者が集い昭和48年に結成。福島県日本画協会展を毎年開催。写生会や講習会を開催。会報も年6回発行して会員の連帯を図っている。

福島県書道連盟…県内の書道愛好者が集い書道技能の向上、書道文化の発展に貢献する目標を掲げて昭和51年に発足。福島県書道連盟展を毎年開催するほか多彩な活動を行っている。

福島県篆刻会…石や木、銅などに印を刻み紙に写す篆刻は、昭和63年東北地方各地で活動する篆刻団体の展示会に福島から参加したのが始まり。福島県篆刻会展を毎年開き実技講習も行い好評である。

福島県日本画連盟…昭和45年、中井恒峯氏を中心に設立した日本画の団体。県内各地で活躍する日本画を愛好する団体、個人が毎年、福島県日本画連盟展を開催している。

福島県版画会…福島県内版画美術の振興と版画愛好者の育成を目的に昭和52年結成。木版を中心に銅板、リトグラフなど多彩な版画が出品される福島県版画展を毎年開催している。

福島県刻字協会…木などに直接書を刻む刻字の団体は、平成16年に刻字作家が互いに技術の向上と芸術性を高めることを目的に設立、毎年福島県刻字協会展を開催し実技講習なども行っている。

舞台行事出演団体 []は開始予定時間

福島県三曲連盟…日本の伝統芸能としての箏、三弦、尺八による三曲音楽の発展と興隆、会員の研鑽・親睦を図るため昭和40年に発足。毎年三曲連盟演奏会を開催するほか全国、海外との交流も行っている。[10:30]

福島県観世流連合会…昭和のはじめ県内で能楽(観世流)の活動が始まり、その機運が高まり昭和47年福島県観世流連合会が発足した。今では県内各地から会員が集まり毎年謡曲・仕舞大会が開かれている。[10:45]

福島県宝生流連合会…福島県宝生流連合会は県内の能楽(宝生流)愛好家が一堂に会し平成5年に設立された。福島県宝生流謡曲大会を毎年開き謡曲、仕舞などを披露している。[11:00]

福島県吟詠家協会…福島県吟詠家協会は、昭和51年日本の伝統芸能である吟嘯を志す県内の愛好団体が結成した。県内6方部持ち回りで「現代吟詠のつどい」を開催している。[11:15]

福島県民謡連盟…民衆の中で歌われてきた民謡を愛好する県内の団体が、昭和53年福島県民謡連盟を発足させた。「ふくしま民謡のつどい」を県内持ち回りで開催のほか多彩な行事に参加している。[11:30]

福島県吟剣詩舞道総連盟…終戦後詩吟を愛好する人たちが集まり県内各地に詩吟会が生まれ、これらの団体が昭和42年に県域を網羅する団体が発足した。現在は福島県吟剣詩舞道総連盟として毎年大会を開催している。[11:45]

公益社団法人日本舞踊協会福島県支部…昭和36年、県内で活動している日本舞踊家7名により設立された。福島県芸術祭ほか国民文化祭や全国の舞台に出演して日本舞踊の普及に努めている。[12:00]

福島県洋舞連盟…福島県内に在住している洋楽の舞踊家が発起人となり昭和59年に設立された。県内持ち回りで「洋舞の祭典」を開催、全国のコンクール出場、ワークショップなどを開いている。[12:15]

福島県ハーモニカ協会…ハーモニカ音楽の普及を図るため、県内の愛好者が集まり平成2年に発足。毎年定期演奏会「しゃくなげコンサート」開催のほか、東北のフェスティバル、各種アトラクションにも出演している。[12:30]

福島阿波おどり協会…徳島の阿波踊りは日本全国に愛好する団体があり、福島県の愛好団体が平成25年に「福島阿波おどり協会」を設立し県内各地で活動。県芸文連には令和元年に加盟。[13:45]

福島県声楽協会…洋楽の歌唱技術の普及向上を目指し、県内の声楽家が昭和59年福島県声楽協会を設立した。年に一度会員の勉強の成果を発表する演奏会を開催している。[14:00]

福島オペラ協会…福島県民創作オペラ「智恵子抄」「乙和の椿」上演をきっかけに平成8年に設立。以後、オペラの上演やガラ・コンサート、メンバーによる演奏会を開催している。[14:15]

福島県おかあさん合唱連盟…福島県内でおかあさんコーラスとして活動していた団体が、昭和41年「福島県おかあさん合唱連盟」を結成した。毎年おかあさん合唱祭を持ち回りで開催している。[14:30]

福島県合唱連盟…昭和22年、合唱愛好家により福島県合唱連盟が組織された。次第に加盟数が増え、今では東北、全国コンクールに出場した団体が連続金賞を受賞するなど「合唱王国ふくしま」と呼ばれている。[14:45]

福島県吹奏楽連盟…昭和38年、吹奏楽関係者が福島県吹奏楽連盟を設立しコンクールを開催した。加盟数も増え全国コンクールで連続上位入賞を果たす団体が多くあり「吹奏楽福島」とも呼ばれるようになった。[15:00]

福島県アマチュアオーケストラ連盟…福島県内で活動している会津、郡山、いわき、福島の4つのアマチュアオーケストラが、地域の音楽文化振興と会員相互の交流を目的に平成26年に設立。交換会や講習会などを開催している。[15:15]